

高圧ガス施設等津波被害軽減対策事例シート

整理番号 11	実施項目 地震計の増設による地震情報の信頼性向上策	
大項目 情報収集・伝達体制	細項目 情報収集体制	関連事例 12、13、21
実施対象施設 計器室等	実施費用 数百～千万円程度	実施に要する期間 数週間～数ヶ月程度
<p>津波被害事例等</p> <p>津波による浸水のおそれがある場合においては、津波到達までの限られた時間で施設を安全な状態にすることが求められるが、地震計との連動による施設の自動シャットダウン(S/D)システムをあらかじめ構築しておくことで、緊急時の迅速な対応が可能となる。</p>		
<p>津波対策事例</p> <p>《地震計連動S/D》 地震発生後、津波到達までの限られた時間で速やかに施設を安全な状態とするため、地震計との連動によるシャットダウン(S/D)シーケンスが有効</p> <p>＜課題＞ 地震計連動S/Dシーケンスの構築に当たっては、次のような課題が挙げられる。 ○敷地エリア毎に地震動は異なる ○施設の誤停止を防止するためには、地震計の信頼性の向上が必要</p> <p>＜対策＞ 地震計を施設エリア毎に設置(増設)することにより、エリア毎の地震動を正確に把握するとともに、地震計の信頼性を向上</p> <p>＜効果＞ ○地震計連動により施設S/Dに係る時間が削減 ○大規模地震による稼働中装置に起因した事故防止、地震に伴う振動加速度等被害を判断する指標となるデータの収集</p>		
		
		増設した地震計
<p>要点</p> <p>速やかなS/Dを行うために地震計による判断精度を高めることを目的とする。費用が高価なのが難点だが、S/Dによる被害影響を最小限にする処置。</p>		